

## 一 般 質 問

令和元年 7月19日 (金)

14番 佐 藤 俊 浩 議 員

### 1. 児童虐待について

- ①前年度の石狩市における虐待発生件数と対応状況
- ②行政・児童相談所・警察の情報共有について
- ③行政情報の利用について

### 2. 観光振興について

- ①石狩まるごとフェスタ中止について
- ②ライジングサンと石狩市とのかかわりについて
- ③サイクルツーリズムの推進について
- ④厚田道の駅、冬期における利用について

### 3. 交通政策について

- ①児童、生徒の通学における安全確保について
- ②高齢者による交通事故防止について
- ③免許証の返納した後や車を持たない高齢者の対応

### 4. 上下水道施設について

- ①上下水道耐震状況について

### 5. 石狩湾新港の振興について

- ①石狩湾の洋上風力におけるエネルギー政策事業参入について
- ②港湾整備の促進について
- ③人材確保に係る公共交通の確保について

---

8番 天 野 真 樹 議 員

### 1. 在宅医療の推進に向けた取り組みについて

- ①石狩市では、2015年度に市内の医療機関等を対象に在宅医療にかかるアンケートを実施している。当時の往診・訪問診療の実績と、2025年問題が目前に迫る中、2025年にはどの程度推移すると考えているのか伺う。
- ②在宅医療の推進については、先進都市でも悩みながら在宅医療に向けた取り組みを行っている。石狩市は、石狩市独自の在宅医療を進めていかなければならないが、在宅医療の課題はどのように考えているのか伺う。

## 2. 地域包括支援センターの公募のあり方について

- ①平成24年度の地域包括支援センターの公募において、地域に住む医師である関係者と地域の実情にあったものを協議するわけではなく、地域外の法人と事前に話し合いを持っていた。その中で、プロポーザルは実施されたが、本当に公平な環境の中で実施したのか伺う。
- ②地域包括支援センターは他都市においても、その質を高めるため、数年後にまた再度公募するという都市もある中で、石狩市は実施しないとの話である。実施しない理由は何かあるのか伺う。

## 3. 多職種連携の必要性について

- ①2015年度の先のアンケートでは、「連携」という言葉を、ところどころで見かけるが、「連携」の必要性をどうとらえ、どういう意味で使っているのか伺う。

## 4. 救急医療を提供する体制について

- ①市町村は、最も住民に近い行政主体であり、地域住民を支援する責務を有するものであるが、市町村を単位として確保が求められる初期救急の提供体制について、石狩市は、責任をどう感じ、どうその責務を果たしていこうと考えているのか伺う。

## 5. 保健医療のまちづくりについての新市長の見解について

- ①保健医療の分野では、今まで連携や協働ができていない部分が多かったと感じる。地域をあげた協働のまちづくりのため、改善すべき点が多いと感じるが、新市長の見解について伺う。

---

5番 松本喜久枝 議員

## 1. 子ども医療費助成について

市長は所信表明で子育て支援の重要性を述べられましたが、子ども医療費の年齢拡大について、以下の4点についてお伺いします。

- ①本市の生活実態調査の結果について
- ②子ども医療費通院費無料の対象年齢を中学卒業まで拡大すること
- ③所得制限をなくすことについて
- ④入院・通院の一部負担をなくすことについて

## 2. 妊産婦の問題について

妊産婦への支援のあり方についても、1と並んで外せない重要課題と考えますが、以下の3点についてお伺いします。

- ①産前産後のヘルパー派遣について
- ②女性相談員の配置と心のケアについて

③国民年金保険料の産前産後期間の免除制度の周知について

### 3. 高齢者福祉利用割引券について

本市において急速に進んでいる高齢化に対する福祉施策としては、現在「高齢者福祉利用割引券」のみです。そのあり方に対する基本的な考え方と、以下の2点について伺います。

- ①高齢者福祉利用割引券交付事業の利用状況について
- ②現在の2,000円の補助について以前の5,000円に戻すこと

### 4. 南コミュニティセンターの維持・改修について

住民集会所は今後、適切な管理と維持・補修が必要となってきています。そこで、南コミュニティセンターの維持・管理について、以下の2点について伺います。

- ①体育館アリーナの暗幕の修理・取り替えについて
- ②談話室の備品等について

---

## 3 番 遠 藤 典 子 議 員

### 1. 除排雪について

- ①市民の最大の要望である除排雪の改善について
  - イ. 「雪対策市民協議会」における「最終提言書」（H18年）の検証と活用について
  - ロ. 雪対策を専門に扱う部署の新設について

### 2. 交通手段の確保について

- ①「地域公共交通網形成計画」の周知について

### 3. 厚田区における浜益温泉入浴サービスについて

- ①1月・2月の運休期間、距離的に近い番屋の湯の利用について
- ②月1回から2回の増回について
- ③65歳以上からの利用について

---

## 13 番 金 谷 聡 議 員

### 1. 教育へのICTの活用について

- ①石狩市では北海道で他自治体に先駆けて意欲的にプログラミング教育に取り組んでおり、また市内全小学校で足並みをそろえて実施している点は高く評価されるべきだと思います。更なるICT環境整備に向けて現時点での課題認識を伺います。

## 2. 石狩特産品のブランド化に向けた育成について

- ①石狩市の更なる産業発展・雇用拡大・地域振興のため、より積極的に海外への特産品の輸出を図るべきと考えます。輸出に耐えうる魅力ある石狩ブランド化に向けた育成についての方針を伺います。

## 3. 樽川地区における通学路の安全確保について

- ①最近高齢者による自動車運転操作の誤りによる事故が日本全国で多発しています。石狩市随一のマンモス小学校である南線小学校の児童の通学時の安全確保のため、石狩手稲通と樽川西5線（樽川5番通）の交差点にガードレールを設置すべきと考えますが、市の考えを伺います。
- ②樽川2号線（樽川2号通）と樽川4線（樽川4番通）の交差点は交通量が多く、また樽川中学校方面から交差点に進入した車からは特に右側の視界が悪く、安全確認のため一時停止線を越えて交差点に進入しなければ右側から交差点に進入してくる車両の確認をしにくく、事故発生リスクの高い交差点であると考えます。安全確保のため信号機を設置すべきと考えますが、市の考えを伺います。

## 4. 少人数制特認中学校の設置について

- ①生振小学校は市内全域から通学することが可能な少人数制の特認校であり、特色ある教育方針もあり、大人数クラスでの学校生活に不安を覚える児童にも好評を得ています。ただ、現時点では小学校卒業後、私学という選択肢を除けば地元学区内の中学校に通わざるを得ず、子どもたちへの配慮が十分であるとは言いにくい状況にあると考えます。生徒数が減少してきている石狩中学校を特認校として指定し、生振小学校卒業生の受け皿の一つとして整備すべきではないかと考えますが、市の考えを伺います。

## 5. 子ども食堂に対する支援拡大について

- ①両親の共働きや単身家庭の子どもにとって、誰かと会話しながら食事することのできる子ども食堂は、子どもの健全な人格形成に対してとても有意義な活動であると考えます。現在市内の子ども食堂には最初の3年間までは市からの助成金がありますが、4年目以降も助成金を継続すべきと考えますが、市の考えを伺います。

---

7 番 神 代 知 花 子 議 員

## 1. 北海道電力株式会社との再生可能エネルギー発電事業等に関する地域連携協定の締結について

6月13日に新聞報道された、北海道電力株式会社との再生可能エネルギー発電事業等に関する地域連携協定の締結について伺う。

- ①地域連携協定を結ぶことになった経緯と内容は、国の再エネ海域利用法、促進地との関係は、北海道知事は洋上風力発電促進のための協議会を持つと発言しているが石狩市は打診をされてのことか。

- ②洋上風力発電と、バイオマス発電、どこに、誰が、どのように実施するのか。
- ③なんの計画に基づいた協定か。市民への説明会の実施とパブリックコメントを実施するべきと考えるがいかがか。

## 2. (仮称)石狩洋上風力発電と、港湾エリアのエネルギー事業の漁業影響について

- ①(仮称)石狩洋上風力発電の環境影響評価の進捗と、調査状況、着工予定など把握していることを伺う。また、事業者と漁業組合間の話し合いはどのようになっているのか。石狩市が知る現状を伺う。
- ②(仮称)石狩洋上風力発電は、港湾エリアに建設予定であるが、漁業へ与える影響は甚大と考える。設置工事、海底ケーブル、稼働後、どのような影響が考えられるか。また、すでに稼働している北電LNG温排水の調査状況や影響を把握しているか。

## 3. 小型風力発電の申請状況と説明会実施について伺う

- ①小型風力発電の認定状況と、申請状況、稼働状況、説明会実施状況を伺う。
- ②現状で申請せずに着工している事業はないか。また、町内回覧ですませる事業があるが、それはなぜか。しっかりと説明会を実施するべき。
- ③他自治体での小型風力発電の騒音、景観トラブルについて、把握しているか。

## 4. 石狩市でのグリホサート系農薬と、ネオニコチノイド系農薬の使用状況について

- ①現在、公園管理、学校、幼稚園・保育園、児童館など子どもが遊ぶ公共機関で、除草や殺虫などの目的で、グリホサート系農薬と、ネオニコチノイド系農薬の使用はされているか伺う。
- ②農協のグリホサート系農薬と、ネオニコチノイド系農薬の販売状況と、石狩の農家での使用状況を伺う。
- ③グリホサート系農薬と、ネオニコチノイド系農薬の全世界的な廃止の流れについての見解と、石狩市として不使用を明言していく考えを伺う。

## 5. 8050ひきこもりの対策事業について

- ①2018年度実施したアンケート結果から、40歳以上のひきこもり、または予備軍ほどの程度いると考えるか。
- ②高齢化するひきこもりに対する窓口は、民間のNPO団体の状況を鑑みると、生活困窮者事業を持つ社会福祉協議会等が請け負うべきと考えるが検討するお考えはないか伺う。